

## 平成29年度第2回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	平成29年11月11日（土） 午前9時30分～午前11時30分	
開催場所	加茂文化センター 和室	
担当議員	班代表者	酒井弘一
	司会者	高岡伸行
	報告者	山本和延
	記録者	森本茂・森本隆
	班員 (上記以外)	西岡政治・島野均・九社前聿朗
参加人数	15人	
主な質疑・意見等	<p>市民と議会のつどいの説明資料をベースに、議会だより11月号の説明を実施。</p> <p>&lt;防災無線関連&gt;</p> <p>Q： 地域長になって、半年遅れで自宅に戸別受信機が設置された。任期が1年しかないのに、遅すぎる。また、防災行政無線以外にもエリアメール等の伝達手段もあるので、実情を考えると防災行政無線の整備費用は、無駄ではないのか。</p> <p>A： 防災行政無線の一番の目的は、戸外にいる人に何かがあったことを伝えるためのもの。詳細はメール等で確認してもらうようにしていると聞く。また、弾道ミサイル等の有事の時には、有効であると思っている。防災行政無線は面整備をしてから、戸別受信機事業を進めているが、遅れている。1年ごとの予算化により事業を進めているので、遅れは理解してほしい。</p> <p>Q： 防災行政無線が戸外でも全然聞こえない。（南加茂台9丁目付近）反対に、近くは放送が大きく、内容が聞き取れない。広報車も回っているが、速度が速いので何を言っているのか聞き取れない。また、戸別受信機を戸別に付けてほしいという要望に対して、1年以上進捗がない。</p> <p>A： 安くできないかを検討しているため、時間がかかっていると聞く。</p> <p>Q： 戸別受信機の設置については、予算化のときに分かっており、準備しておくべきではないか。言い訳は聞いていない。</p> <p>Q： 地域長として、戸別受信機で詳細内容を聞き、地域にお伝えしている。毎年のことなので、地域長が改選時期の6月に設置するようにしてほしい。</p> <p>A： 時期を合わすように、議会としても取り組んでいく。</p>	

<災害対応>

Q： 当尾地域の新川は、数年間で2回溢れている。時間別降水量50mm以上で溢れる。部分的にポンプをつけるのは理解できるが、棚田も荒廃している。

避難場所も含めて、現場の方の意見を聞いてほしい。  
田舎を守ってほしい。

Q： 防災行政無線が整備されたが、実際の避難をどうすべきかも重要。実際に市内の川でも溢れている。

A： 台風等の災害対応については、起こらない対応が重要。  
内水対策も含めて、重要課題として認識している。

<決算内容について>

Q：①決算額の推移について、最近の増加の原因を説明してほしい。50億円については、扶助費以外のクリーンセンター、城山台小学校等の建設費が増えたためか。

②議会だよりの記事に、給食センターのごみを事業系ごみとしたとなっているが、公共施設のごみはどうなっているのか。

③まち・ひと・しごと総合戦略の補助金の内容が、情報公開されていない。誰がもらっているかがわからない。

A：①クリーンセンター建設、城山台小建設・棚倉小改築等のため、決算額が増えている。

②平成28年度途中より事業系にしている。数字は現在、調査中との回答であった。議会としても注視していく。

③上限が250万円。選定方法が市民に説明されていない。HPへの公開等を検討していく。

梅谷カフェ、キチキチの経過が分かりにくいのは理解している。

<普通教室のエアコン導入の件>

Q： 幼稚園、小中学校普通教室のエアコン設置が遅れている。来年の夏はエアコンが稼働するのか。

A： 現在の予定では、来年の夏休み以降に工事、再来年の夏から稼働予定。

Q： 受験を控えた中学3年生等の優先順位の高いところから、早急にエアコンの導入をすることはできないか。

A： 安全に工事を行うためにも工期の確保が必要なので、前倒しは難しい。

<ごみ袋有料化の件>

Q： ごみの件については、ごみ量の実績説明分かりにくい。

説明が分かりにくいまま終わらないこと。  
経緯の内容を確認してほしい。

Q： ごみの有料化については、不法投棄のパトロールの回数を増やしてほしい。(特に当尾地域等)

Q： 新クリーンセンターができると、焼却費用が減ると聞いている。どうして有料化なのか。

Q： ごみ袋有料化について、近隣他市町村の状況はどうなのか。

Q： 7Lより小さいサイズのゴミ袋が欲しい。

Q： ①ごみを減らすために有料化を行うという理由はどうなのか。  
②有料化における議員の考え方は。

A： ・ごみ減量化の説明内容については、市に説明を求めている。  
・不法投棄については、重点的に取り組む提案をする。  
・利益1800万円については、新クリーンセンターの運転費等に充てるものではなく、ごみ減量化政策に使用すると聞いている。  
・奈良市、京田辺市、精華町は無料。

東部3町村は有料。生駒市は、1L=1円。

・山城、加茂は有料化していた。木津川市は減量化の努力をしている。全体の44.8%は生ごみ。もっと減量するには、ごみ袋有料化が必要。1L=1円をもらって、1L=1円を市民に返す。

A： 賛成の立場で説明をするが、合併前は山城、加茂もごみ袋有料化をやっていた。合併以降は、古紙回収やごみ減量化の様々な取り組みを努力して進め、リサイクル率は結構高い数字となって表れており、評価をする。

平成17年に国からの有料化によるごみ減量化の方針が出され、今は有料化によって資源化をどう進めていくのかという時代になっていると思う。無料化のままいくと、資源化はできない。

資源化をして、堆肥化をして、市民に何らかの形で還元をする。他市町でもこういう形でやっている。

○ 家庭ごみの分別は、難しい。学校のごみは資源化しやすいので、もっと積極的に取り組んではどうか。

○ 合併後、10年が経過した。合併前、山城、加茂はごみ有料化であった。

受益者負担で、ごみの有料化は必要と考える。

職員の意欲が出てきた事業については、推進することに賛成する。賛成議員は、きっちり勉強して説明してほしい。

	<p>○ 瓶原では自宅でごみを焼却されている。有料化されると自宅でごみを燃やす人が増えると思う。火災の危険もあるので、有料化を考え直してほしい。</p> <p>○ 生駒市でのごみ袋の有料化の前にはトライアルがあった。さくら会はなぜ反対しないのか。大人のおむつの無料対応についてもプライバシーの観点からどうしていくのか。</p> <p>○ ごみ袋有料化による利益は1,800万円と聞く。ごみ処理費用は、年間約10億円の予算と聞いている。 ごみ処理に係る費用を減らすことで、その分、介護等に予算が使えることを議員としても検討してほしい。</p> <p>○ ごみの資源化、発電、堆肥化があれば、無料で回収できるのではないか。</p> <p>○ 現実がどうなのかを説明すること。その上で、有料化を論議、提案すること。</p> <p>&lt;その他&gt; Q： 赤田川清掃時に悪臭がする。市民の健康を守るために取り組んでほしい。 A： 有害物質は検出されていない。対応については市で検討中。</p>
<p>質問・要望等で行政側へ報告すべき内容</p>	<p>1. 防災行政無線、防災関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南加茂台9丁目で戸外でも聞こえにくい所がある。調査が必要。</li> <li>・地域長が代わったときに、戸別受信機をすぐ配備できるように準備すること。また、個人負担での希望者への対応を早急にする。</li> <li>・実際の避難の方法について、市民の要望を聞いてほしい。</li> </ul> <p>2. ごみ袋有料化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経緯の説明が不足。不法投棄パトロールの検討が必要。</li> <li>・大人のおむつの無料化対応方法の検討必要。</li> </ul> <p>3. 赤田川の水質調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査内容等の説明が必要。</li> </ul>
<p>その他特記事項</p>	

上記のとおり、報告します。

平成29年11月14日

木津川市議会議長 高味 孝之 様

平成29年度第2回議会報告会 第1班 代表者 酒井 弘一 ㊞